
平成31年度
全国学力・学習状況調査

調査結果報告書

旭川市教育委員会

はじめに

旭川市教育委員会では、児童生徒の確かな学力の育成に向け「平成31年度旭川市確かな学力育成プラン」を策定し、「学びを深める授業づくり」、「落ち着いた学級づくり」及び「望ましい学習習慣づくり」の3つの指導の重点を示して、各学校において、学力向上に向けた共通した取組が推進するよう努めております。

このような中、令和元年7月に、国から平成31年度全国学力・学習状況調査結果の提供を受け、本調査の実施要領に示されている「調査の目的」及び「調査結果の取扱いに関する配慮事項」などを踏まえ、この度、本市の結果を報告書として取りまとめました。

本報告書では、教科に関しては、全教科の領域等別や設問ごとの正答や誤答の状況を把握し、成果と課題を明らかにするとともに、小中連携・一貫教育の視点から、9年間で身に付けさせたい力を明らかにしております。また、児童生徒質問紙調査に関しては、質問項目について、国立教育政策研究所の分類をもとに、本市の3つの指導の重点ごとに整理し、回答状況や各教科の正答率と学習習慣・生活習慣との相関関係について分析しております。

また、課題が見られた設問や、改善が必要と考えられる質問項目等については、各学校の指導や取組の充実に資するよう、本報告書とは別に「指導の改善策」として「国語編」、「算数・数学編」、「英語編」、「学習習慣・生活習慣編」を作成するとともに、課題となる設問について、児童生徒に確実な定着を図るため、授業等で活用できる「旭川市学力向上学習プリント集」を作成いたしました。

各学校においては、「平成31年度旭川市確かな学力育成プラン」を踏まえるとともに、本報告書、「指導の改善策」及び、「旭川市学力向上プリント集」を十分に御活用いただき、児童生徒の学力向上に向けた継続的な検証改善サイクルを確立していただくよう期待します。

令和元年10月

旭川市教育委員会教育長

黒 蕨 真 一

〔目 次〕

1	調査の概要	…	1
(1)	調査の目的		
(2)	調査の対象		
(3)	調査事項及び手法		
	①児童生徒に対する調査		
	②学校に対する質問紙調査		
(4)	調査日		
(5)	調査に参加した学校数，児童・生徒数		
2	教科に関する調査結果の概要	…	2
(1)	小学校各教科		
(2)	中学校各教科	…	3
(3)	小学校国語	…	4
(4)	小学校算数	…	5
(5)	中学校国語	…	6
(6)	中学校数学	…	7
(7)	中学校英語	…	8
※ 各教科の調査結果を踏まえた指導の改善策については，別冊 の「指導の改善策 国語編，算数・数学編，英語編」を参照			
3	児童生徒質問紙調査結果の概要		
(1)	質問項目の分類の考え方	…	9
(2)	分析結果の整理		
(3)	クロス集計		
(4)	旭川の子どもたちの概況	…	10
(5)	小学校	…	11
	①「学びを深める授業づくり」について		
	②「落ち着いた学級づくり」について	…	12
	③「望ましい学習習慣づくり」について		
(6)	中学校	…	13
	①「学びを深める授業づくり」について		
	②「落ち着いた学級づくり」について	…	14
	③「望ましい学習習慣づくり」について		

※ 児童生徒質問紙調査結果を踏まえた指導の改善策については，別冊の「指導の改善策 学習習慣・生活習慣編」を参照

1 調査の概要

(1) 調査の目的

- 義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図るとともに、学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。さらに、そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

(2) 調査の対象

- 小学校第6学年及び中学校第3学年の児童生徒

(3) 調査事項及び手法

① 児童生徒に対する調査

ア 教科に関する調査

小学校：国語，算数

中学校：国語，数学，英語

国語，数学，英語は，それぞれ次の(ア)と(イ)を一体的に出題。

(ア)身に付けておかなければ後の学年等の学習内容に影響を及ぼす内容や，実生活において不可欠であり常に活用できるようになっていることが望ましい知識・技能など

(イ)知識・技能等を実生活の様々な場面に活用する力や，様々な課題解決のための構想を立て実践し評価・改善する力などに関わる内容

英語においては，「聞くこと」，「読むこと」，「話すこと」，「書くこと」に関する問題を出題。

イ 質問紙調査

学習意欲，学習方法，学習環境，生活の諸側面等に関する調査

② 学校に対する質問紙調査

学校における指導方法に関する取組や学校における人的・物的な教育条件の整備の状況等に関する調査

(4) 調査日

平成31年4月18日（木）

(5) 調査に参加した学校数，児童・生徒数

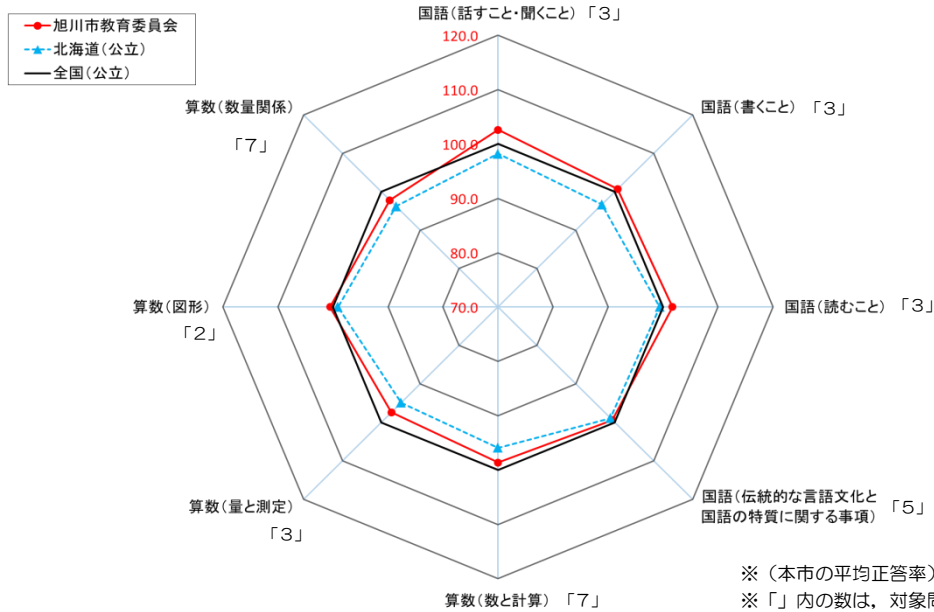
校 種	学校数	児童・生徒数
小学校	53校	2,372人
中学校	26校	2,395人

※児童・生徒数は，教科に関する調査及び質問紙調査のうち，回収した解答（回答）用紙が最も多かったもの

2 教科に関する調査結果の概要

(1) 小学校各教科

① 全教科領域等別の状況



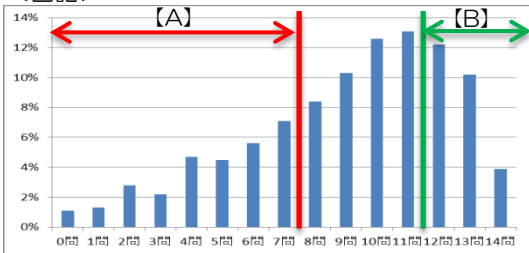
全8領域等のうち、全ての領域において全道を上回っており、国語の「話すこと・聞くこと」、「書くこと」、「読むこと」、算数の「図形」の4領域において全国を上回っている。

国語の「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」、算数の「数と計算」、「量と測定」、「数量関係」の4領域等において全国を下回っている。

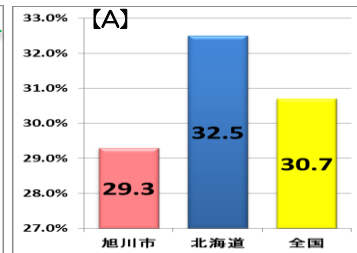
② 各教科の正答数の状況

ア 正答数の分布

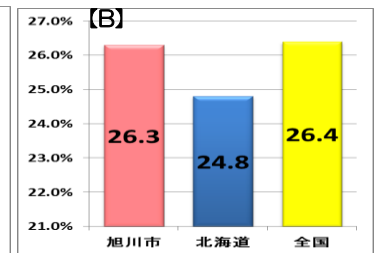
<国語>



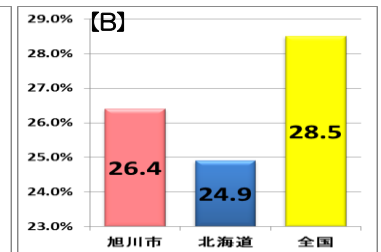
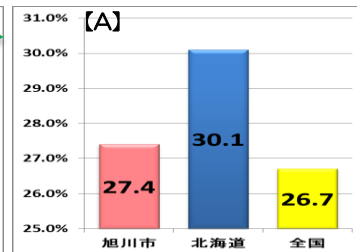
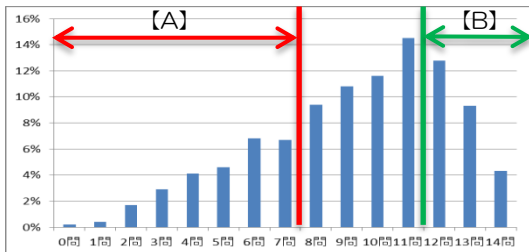
イ 正答数の少ない層の割合



ウ 正答数の多い層の割合



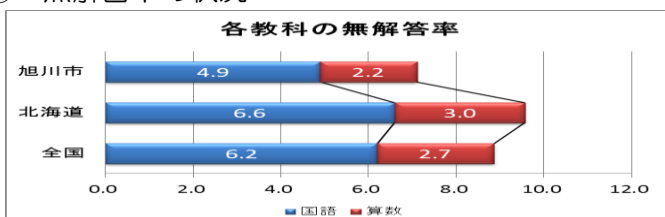
<算数>



- 国語の正答数の少ない層【A】に含まれる児童の割合は、北海道より3.2%、全国より1.4%少ない。正答数の多い層【B】に含まれる児童の割合は、北海道より1.5%多く、全国より0.1%少ない。
- 算数の正答数の少ない層【A】に含まれる児童の割合は、北海道より2.7%少なく、全国より0.7%多い。正答数の多い層【B】に含まれる児童の割合は、北海道より1.5%多く、全国より2.1%少ない。

※「正答数の少ない層」は、正答数を4つの階層に分けたうち、全国の「正答数の少ない層(下位25%)」と同じ範囲に含まれる児童の割合を表しています。
※「正答数の多い層」は、正答数を4つの階層に分けたうち、全国の「正答数の多い層(上位25%)」と同じ範囲に含まれる児童の割合を表しています。

③ 無解答率の状況

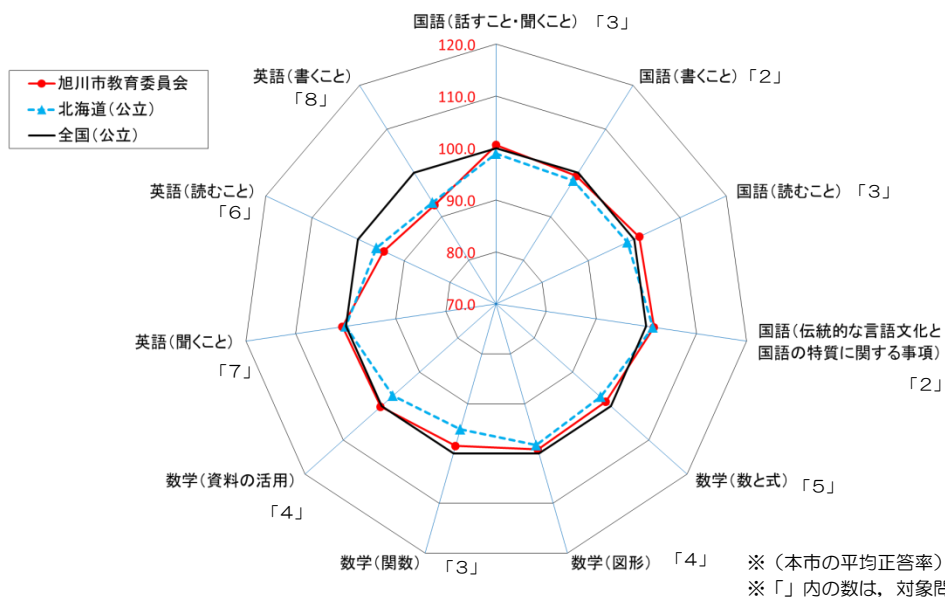


○ 全ての教科で無解答率が、全国及び北海道より低い。

○ 国語については、無解答率が、全国及び北海道より1ポイント以上低い。

(2) 中学校各教科

① 全教科領域等別の状況



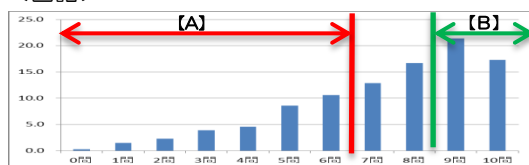
全11領域等のうち、9領域等において全道を上回っており、国語の「話すこと・聞くこと」、「読むこと」、「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」、数学の「資料の活用」、英語の「聞くこと」の5領域等において全国を上回っている。

国語の「書くこと」、数学の「数と式」、「図形」、「関数」、英語の「読むこと」、「書くこと」の6領域において全国を下回っている。

② 各教科の正答数の状況

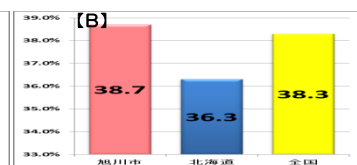
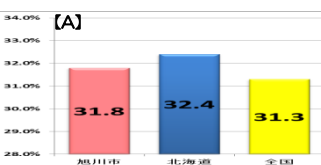
ア 正答数の分布

<国語>

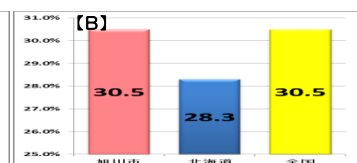
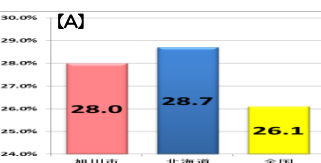
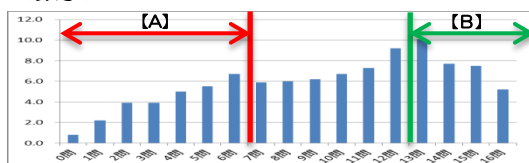


イ 正答数の少ない層の割合

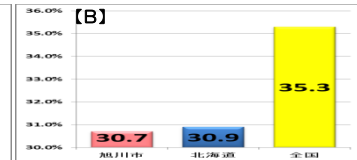
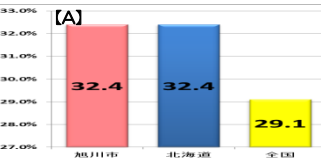
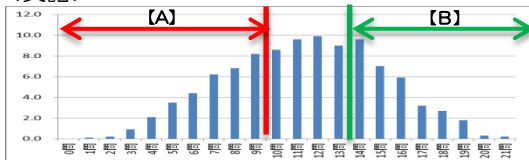
ウ 正答数の多い層の割合



<数学>



<英語>

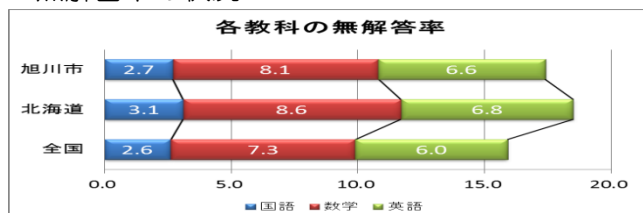


- 国語の正答数の少ない層【A】に含まれる生徒の割合は、北海道より0.6%少なく、全国より0.5%多い。正答数の多い層【B】に含まれる生徒の割合は、北海道より2.4%、全国より0.4%多い。
- 数学の正答数の少ない層【A】に含まれる生徒の割合は、北海道より0.7%少なく、全国より1.9%多い。正答数の多い層【B】に含まれる児童の割合は、30.5%で、全国と同じである。
- 英語の正答数の少ない層【A】に含まれる生徒の割合は、北海道と同じで、全国より3.3%多い。正答数の多い層【B】に含まれる児童の割合は、北海道より0.2%、全国より4.6%少ない。

※「正答数の少ない層」は、正答数を4つの階層に分けたうち、全国の「正答数の少ない層（下位25%）」と同じ範囲に含まれる生徒の割合を表しています。

※「正答数の多い層」は、正答数を4つの階層に分けたうち、全国の「正答数の多い層（上位25%）」と同じ範囲に含まれる生徒の割合を表しています。

③ 無解答率の状況



- 全ての教科で無解答率が、北海道より低い。
- 国語については、無解答率が、全国とほぼ同程度である。
- 全ての教科の無解答率が、全国より高い。

(4) 小学校算数 (全14問)

◇相当数の児童ができている設問

- ①(1) 長方形を直線で切ってできた図形の中から、台形を選ぶ【図形】
- ②(1) 1980年から2010年までの、10年ごとの市全体の水の使用量について、棒グラフからわかることを選ぶ【数量関係】〔94.9〕
- ③(1) $350-97$ について、引く数の97を100にした式にして計算するとき、ふさわしい数値の組み合わせを書く【数と計算】〔81.2〕
- ④(1) だいたい何分後に乗り物券を買う順番がくるのかを知るために、調べる必要のある事柄を選ぶ【数量関係】〔81.3〕

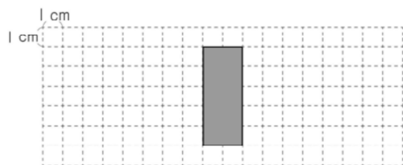
相当数の児童が できている設問例

- ①(1) 長方形を直線で切ってできた図形の中から、台形を選ぶ【図形】

正答率
93.2%

1

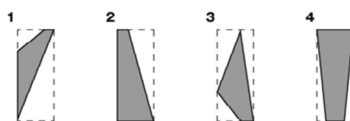
下のような長方形の紙（ ）があります。方眼紙は、1目もり1cmです。



(1) ゆうたさんは、上のような長方形の紙を直線で切って、下の1から4までの図形をつくりました。

下の1から4までの中で、台形はどれですか。

2つ選んで、その番号を書きましょう。



<正答の条件>

- ・2と4と解答している。

◆課題のみられた設問

- ①(3) 減法の式が、示された形の面積をどのように求めているのかを、数や演算の表す内容に着目して書く【量と測定】〔44.3〕
- ②(3) 二つの棒グラフから、一人当たりの水の使用量についてわかることを選び、選んだわけを書く【量と測定】〔数量関係〕〔49.5〕
- ③(2) 減法の計算の仕方についてまとめたことを基に、除法の計算の仕方についてまとめると、どのようになるのかを書く【数と計算】
- ③(4) $1800 \div 6$ は、何m分の代金を求めている式といえるのかを選ぶ【数と計算】〔数量関係〕〔41.7〕

課題のみら れた設問例

- ③(2) 減法の計算の仕方についてまとめたことを基に、除法の計算の仕方についてまとめると、どのようになるのかを書く【数と計算】

正答率
32.5%



【ともやさんの計算の仕方】を見ると、ひき算では、ひかれる数とひく数に同じ数をたしても、ひかれる数とひく数から同じ数をひいても、差は変わらないのですね。

【ともやさんの計算の仕方】

$$\begin{array}{r} 421 - 298 = \square \\ \downarrow +2 \quad \downarrow +2 \\ 423 - 300 = 123 \end{array} \quad \text{変わらない}$$

だから、 $421 - 298$ の答えの $\square$ は、123です。

$$\begin{array}{r} 600 - 201 = \square \\ \downarrow -1 \quad \downarrow -1 \\ 599 - 200 = 399 \end{array} \quad \text{変わらない}$$

だから、 $600 - 201$ の答えの $\square$ は、399です。

【ゆいなんさんがまとめたこと】

ひき算では、
ひかれる数とひく数に同じ数をたしても、
ひかれる数とひく数から同じ数をひいても、
差は変わりません。
このことを使うと、計算しやすいひき算の式で考えることができます。

【ことねさんの計算の仕方】

$$\begin{array}{r} 400 \div 25 = \square \\ \downarrow \times 4 \quad \downarrow \times 4 \\ 1600 \div 100 = 16 \end{array} \quad \text{変わらない}$$

だから、 $400 \div 25$ の答えの $\square$ は、16です。

$$\begin{array}{r} 90 \div 18 = \square \\ \downarrow \div 9 \quad \downarrow \div 9 \\ 10 \div 2 = 5 \end{array} \quad \text{変わらない}$$

だから、 $90 \div 18$ の答えの $\square$ は、5です。

(2) ひき算について書かれた【ゆいなんさんがまとめたこと】と同じように、わり算についても、【ことねさんの計算の仕方】をもとにまとめると、どのようになりますか。

下の $\square$ の中に、「わられる数」、「わる数」、「商」の3つの言葉を使って書きましょう。

わり算では、

※ 解答は、すべて解答用紙に書きましょう。

このことを使うと、計算しやすいわり算の式で考えることができます。

9年間の視点

<小学校で身に付けさせたい力>

- ・除法に関して成り立つ性質を見だし、表現することができるようにする。(小4)

<中学校へのつながり>

- ・算数で学習した数の四則計算と関連付けて、正の数と負の数の四則計算の方法を考察し表現する。(中1)

<無解答率>

- ・9.5%であり、最も高い。

<正答の条件>

- ・次の①、②、③の全てを書いている。
- ① わられる数とわる数に同じ数をかけることを表す言葉
- ② わられる数とわる数を同じ数で割ることを表す言葉
- ③ 商が変わらないことを表す言葉

<多く見られた誤答例>

- ・①、②を書いているが、③を書けていないか、商という言葉を用いていない。
- ・③を書いているが、①と②の一方しか書いていない。

<正答例>

わられる数とわる数に同じ数をかけても、わられる数とわる数を同じ数でわっても、商は変わりません。

本課題の改善策については、
「指導の改善策」算数・数学編 P6へ

(5) 中学校国語 (全10問)

◇相当数の生徒ができている設問

- 1三 文章に表れているものの見方や考え方について、自分の考えをもつ【読むこと】
- 2一 話合いの話題や方向を捉える【話すこと・聞くこと】〔81.0〕
- 3一 書いた文章を読み返し、論の展開にふさわしい語句や文の使い方を検討する【書くこと】〔87.3〕
- 4 話の一部を省いた表現について、話や文章の中での適切な活用の仕方を理解する【伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項】〔80.3〕

相当数の生徒が できている設問例

- 1三 文章に表れているものの見方や考え方について、自分の考えをもつ【読むこと】

正答率
90.9%

「みんなの短歌」に掲載されている内山さんの短歌、森山さんの短歌、松田さんの短歌の中から一首を選び、その短歌を読んであなたが感じたことや考えたことを、【選者より】を参考にしながら、次の条件1と条件2にしたがって書きなさい。

- 条件1 選んだ短歌の中の言葉を取り上げて、想像できる情景や心情を書くこと
条件2 条件1で想像した内容について、あなたが感じたことや考えたことを具体的に書くこと

<正答の条件>

- ・次の条件を満たして解答している。
- ① 内山さん、森川さん、松田さんの短歌の中からいずれか一首を選んで、その記号を塗りつぶしている。
- ② 選んだ短歌の中の言葉を適切に取り上げて、想像できる情景や心情を書いている。
- ③ ②で想像した内容について、感じたことや考えたことを具体的に書いている。

みんなの短歌

今回は、新年度を迎えたフレッシュな心境を表現した作品が集まりました。

目が覚めるジリジリと鳴る前に胸が高鳴る入学の朝
中一 泉 あきら

「選者より」ジリジリと鳴る前に」と「胸が高鳴る」という表現から、いつもは目覚まし時計の音で起きているのに、この日の朝は、胸がどきどきして目覚まし時計が鳴る前に起きてしまったことが想像できます。入学式の朝は、新しい生活に思いを巡らせて、落ち着かない気持ちになるものです。

新しいノート教科書取り出して背筋伸ばして始まりを待つ
中一 内山 誠一

玄関の襦の端でもう一度前髪笑顔をタンと整頓と
中二 森川 りか

春風がいつもの道を駆け抜ける皆の足取り自然と軽く
中三 松田 花子

◆課題のみられた設問

- 1一 文章の構成や展開、表現の仕方について、根拠を明確にして自分の考えをもつ【読むこと】〔64.3〕
- 1二 文章の展開に即して情報を整理し、内容を捉える【読むこと】〔63.8〕
- 1四 封筒の書き方を理解して書く【伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項】〔57.0〕
- 2三 話合いの話題や方向を捉えて自分の考えをもつ【話すこと・聞くこと】〔59.2〕
- 3二 伝えたい事柄について、根拠を明確にして書く【書くこと】

課題のみら れた設問例

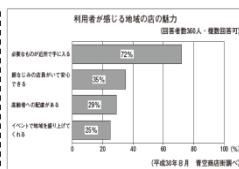
- 3二 伝えたい事柄について、根拠を明確にして書く【書くこと】

正答率
76.6%

青木さんは、【意見文の下書き】の——線部「魅力」の具体例に自分の体験を挙げるだけでは足りないと考え、【広報紙の一部】にある情報を用いて、②のところに文章を書き加えることにしました。あなたなら、どのような文章を書き加えますか。次の【書き出し】に続けて、【広報紙の一部】を見ていない人にも分かるように書きなさい。

【書き出し】

また、昨年8月に青空商店街が作ったアンケート「利用者が感じる地域の店の魅力」の結果からも分かることがあ。例えば、



「魅力を感じる」という回答が最も多く、地域の店の魅力を感じている人が多いことが分かります。また、「魅力を感じない」という回答も少なくありません。これは、地域の店の魅力を感じていない人がまだ多いことを示しています。したがって、地域の店の魅力を感じていない人にも分かるように、具体的な理由を挙げて説明することが必要です。

<無解答率>

- ・9.1%であり、最も高い。

9年間の視点

<小学校からのつながり>

- ・目的や意図に応じて、簡単に書いたり詳しく書いたりする。(小5、6)
- ・引用したり、図表やグラフ等を用いたりして、自分の考えが伝わるように書く。(小5、6)

<中学校で身に付けさせたい力>

- ・伝えたい事実や事柄について、自分の考えや気持ちを根拠を明確にして書く。(中1)

<正答の条件>

- ・次の条件を満たして記述している。
- ① 【広報紙の一部】にある情報を地域の店の「魅力」の具体例として用いて、【広報紙の一部】を見ていない人にも分かるように正確に書いている。
- ② 【書き出し】に適切に続くように書いている。

<多く見られた誤答例>

- ・グラフから、自分が伝えたい情報を捉えられていない。
- ・伝えたい情報を自分の主張とうまくつなげて書けていない。
- ・解答していない。

<正答例>

(…例えば、)約三分割の人が「高齢者への配慮がある」と感じており、超高齢社会を支える大切な役割が地域の店にあるのだと思う。

本課題の改善策については、
「指導の改善策」国語編 P8へ

(6) 中学校数学 (全16問)

◇相当数の生徒ができている設問

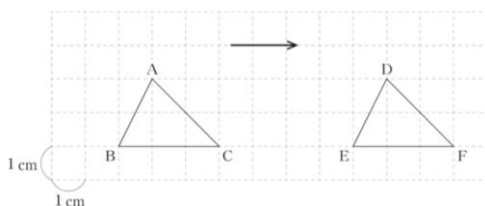
- ③ $\triangle ABC$ を、矢印の方向に $\triangle DEF$ まで平行移動したとき、移動の距離を求める【図形】
7(1) 証明で用いられている三角形の合同条件を書く【図形】〔77.7〕

相当数の生徒が できている設問例

- ③ $\triangle ABC$ を、矢印の方向に $\triangle DEF$ まで平行移動したとき、移動の距離を求める【図形】

正答率
81.7%

- ③ 下の図で、 $\triangle DEF$ は、 $\triangle ABC$ を矢印の示す方向に平行移動したものです。 $\triangle DEF$ は、 $\triangle ABC$ を矢印の示す方向に何cm平行移動したのですか。その移動の距離を求めなさい。



<正答の条件>

- ・「7」と解答している。

◆課題のみられた設問

- ⑥ (1) 冷蔵庫Aの使用年数と総費用の関係を表すグラフについて、点Pのy座標と点Qのy座標の差が表すものを選ぶ【関数】〔37.8〕
⑥ (2) 冷蔵庫Bと冷蔵庫Cについて、式やグラフを用いて、2つの総費用が等しくなる使用年数を求める方法を説明する【関数】
7 (3) 四角形ABCDがどのような四角形であれば、 $AF = CE$ になるかを説明する【図形】〔50.9〕
8 (3) 図書だよりの下書きに書かれているわかったことの根拠となる値として適切なものを選ぶ【資料の活用】〔52.2〕
9 (2) 連続する5つの奇数の和が中央の奇数の5倍になることの説明を完成する【数と式】〔53.6〕

課題のみら れた設問例

- ⑥ (2) 冷蔵庫Bと冷蔵庫Cについて、式やグラフを用いて、2つの総費用が等しくなる使用年数を求める方法を説明する【関数】

正答率
33.1%

- ⑥ 健太さんの家では、冷蔵庫の購入を検討しています。健太さんは、冷蔵庫A、冷蔵庫B、冷蔵庫Cについて調べたことを、次のような表にまとめました。

健太さんが作った表

	冷蔵庫A	冷蔵庫B	冷蔵庫C
容量	400 L	500 L	500 L
本体価格	80000 円	100000 円	150000 円
1年間あたりの電気代	15000 円	11000 円	6500 円

健太さんは、冷蔵庫A、冷蔵庫B、冷蔵庫Cについて、使用年数に応じた総費用を考えることにしました。そこで、それぞれの冷蔵庫において、1年間あたりの電気代は常に一定であるとし、次の式で総費用を求めることにしました。

$$(\text{総費用}) = (\text{本体価格}) + \left(\frac{1}{\text{年間あたりの電気代}} \right) \times (\text{使用年数})$$

例えば、冷蔵庫Aを購入して3年間使用するときの総費用は、 $80000 + 15000 \times 3 = 125000$ となり、125000 円です。

- (2) 健太さんの家では、7ページの健太さんが作った表で、容量が500 Lである冷蔵庫Bと冷蔵庫Cのどちらかを購入することになりました。そこで、健太さんとお姉さんは、冷蔵庫を購入してx年間使用するときの総費用をy 円として、冷蔵庫Bと冷蔵庫Cの総費用を比べてみることにしました。

健太さん「本体価格は冷蔵庫Cの方が高いので、最初のうちは冷蔵庫Bより冷蔵庫Cの方が総費用が多いね。」
お姉さん「1年間あたりの電気代は冷蔵庫Cの方が安いので、使い続けると冷蔵庫Bより冷蔵庫Cの方が総費用が少なくなるね。」
健太さん「それなら、2つの冷蔵庫の総費用が等しくなるときがあるね。」

冷蔵庫Bと冷蔵庫Cの総費用が等しくなるおよその使用年数を考えます。下のア、イのどちらかを選び、それを用いて冷蔵庫Bと冷蔵庫Cの総費用が等しくなる使用年数を求める方法を説明しなさい。
ア、イのどちらを選んで説明してもかまいません。

ア それぞれの冷蔵庫の使用年数と総費用の関係を表す式

イ それぞれの冷蔵庫の使用年数と総費用の関係を表すグラフ

<無解答率>

- ・15.7%であり、4番目に高い。

9年間の視点

<小学校からのつながり>

- ・表を用いて、伴って変わる2つの数量の関係を考察できるようにする。(小5)
- ・身の回りから、比例の関係にある2つの数量を見付けたり、比例の関係を用いて問題を解決したりする。(小6)

<中学校で身に付けさせたい力>

- ・問題解決のために数学を活用する方法を考え、説明できるようにする。(中1, 2)

<正答の条件>

アを選択し、次の(a)について記述している、または、イを選択し、次の(b)について記述している。

- 方程式を解いて、使用年数の値を求めること。
- グラフの交点の座標から、使用年数の値を読み取ること。

<多く見られた誤答例>

- ・アを選択し、(a)について、方程式を書いているが、方程式を解いて、使用年数の値を求めることを説明していない。
- ・イを選択し、(b)について、グラフを用いることは書いているが、2つのグラフの交点の座標から、使用年数の値を読み取ることを説明していない。

<正答例>

<アを選択した場合>

- ・冷蔵庫Bと冷蔵庫Cについて、使用年数と総費用の関係から連立方程式をつくり、それを解いて使用年数の値を求める。

<イを選択した場合>

- ・冷蔵庫Bと冷蔵庫Cについて、使用年数と総費用の関係を一次関数のグラフに表して、その交点の座標を読み取り、使用年数の値を求める。

本課題の改善策については、
「指導の改善策」算数・数学編 P10へ

(7) 中学校英語 (全21問)

◇相当数の生徒ができている設問

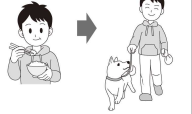
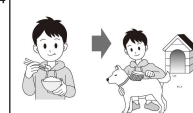
- 1 (1) ある状況を描写する英語を聞いて、その内容を最も適切に表している絵を選択する【聞くこと】
 1 (2) 教室英語を聞いて、その指示の内容を最も適切に表している絵を選択する【聞くこと】
 3 天気予報を聞いて、ピクニックに行くのに最も適する曜日を選択する【聞くこと】〔81.2〕
 9 (1) ①文中の空所に入れる接続詞として、最も適切なものを選択する【書くこと】〔77.8〕

相当数の生徒が できている設問例

- 1 (1) (2) ある状況を描写する英語を聞いて、その内容を最も適切に表している絵を選択する。【聞くこと】

正答率
92.4%
90.3%

話される英語を聞いて、その内容を最も適切に表している絵を、それぞれ1から4までの中から1つ選びなさい。

1 	2 	1 	2 
I get up at six every Sunday and take my dog for a walk.			
<正答の条件>・3と解答している			
3 	4 	3 	4 
Listen to the CD and write your ideas in your notebook.			
<正答の条件>・1と解答している			

◆課題のみられた設問

- 4 来日する留学生の音声メッセージを聞いて、部活動についてのアドバイスを書く【聞くこと】〔9.3〕
 5 (2) ある状況を描写する英文を読んで、その内容を最も適切に表している絵を選択する【読むこと】〔67.9〕
 8 食糧問題について書かれた資料を読んで、その問題に対する自分の考えを書く【読むこと】
 9 (2) ②与えられた英語を適切な形に変えたり、不足している語を補ったりなどして、会話が成り立つように英文を書く【書くこと】〔21.8〕
 9 (3) ②与えられた情報に基づいて、ある女性を説明する英文を書く【書くこと】〔23.1〕
 10 学校を表す2つのピクトグラム(案内用図記号)の案を比較して、どちらがよいか理由とともに意見を書く【書くこと】〔1.2〕

課題のみら れた設問例

- 8 食糧問題について書かれた資料を読んで、その問題に対する自分の考えを書く。【読むこと】

正答率
6.4%

英語の授業で、次のような資料が配られました。これを読んで、文中の問いかけに対するあなたの考えを英語で簡潔に書きなさい。

There are a lot of hungry people in the world. The World Food Programme gives food to about 90,000,000 people in 83 countries. Japan is a member of this project. However, here in Japan, people waste more than 6,000,000t of food every year. It means that one person wastes two rice balls every day. We waste food not only at home, but also at restaurants, convenience stores, supermarkets, schools, and some other places. That is really *mottainai*! We have to stop wasting food now. What can we do about this problem?

.....

(注)
 The World Food Programme: 世界食糧計画(国際連合の事業)
 project: 事業 waste: ~を無駄にする
 rice ball: おにぎり not only...but also...: ~だけでなく、...も

<正答の条件>

- 食料を無駄にすることをやめるために自分ができることについて、十分理解できる英語(大文字・小文字の書き分け等に誤りがあるものを含む)で解答しているもの

<多く見られた誤答例>

- 問いかけと同内容を繰り返すだけのものや、ただ感想を述べるだけのもの
 例) We have to stop wasting food. / I have no idea.

<正答例>

(具体的な解決策を言及しているもの)

- We should not buy too much food.
- We don't waste the food in our school lunch.

<無解答率>

- ・32.2%であり、全国より高い。

9年間の視点

<小学校からのつながり>

- ・日常生活に関する身近で簡単な事柄を内容とする掲示やパンフレットなどから、自分が必要とする情報を得る。(小5、6)
- ・音声で十分に慣れ親しんだ簡単な語句や基本的な表現を、絵本などの中から識別する。(小5、6)

<中学校で身に付けさせたい力>

- ・話の内容や書き手の意見などに対して感想を述べたり賛否やその理由を示したりすることができる。(中学校)

本課題の改善策については、
 「指導の改善策」英語編 P2へ

3 児童生徒質問紙調査結果の概要

(1) 質問項目の分類の考え方

児童生徒に対する質問紙調査の全質問項目（小学校58，中学校69）について，国立教育政策研究所の報告書では，質問項目を11個に分類していますが，この国立教育政策研究所の分類と本市の確かな学力育成プランの3つのカテゴリー（「学びを深める授業づくり」「落ち着いた学級づくり」「望ましい学習習慣づくり」）との関連付けを図り，下の表のとおり整理しました。

カテゴリー	国立教育政策研究所の分類	質問番号	
1 学びを深める授業づくり	ICTを活用した学習状況	小	27～28（2問）
		中	30～31（2問）
	主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善に関する取組状況	小	29～36（8問）
		中	32～39（8問）
	学習に対する興味・関心や授業の理解度等（国語）	小	37～45（9問）
		中	40～48（9問）
	学習に対する興味・関心や授業の理解度等（算数・数学）	小	46～56（11問）
		中	49～53（5問）
	学習に対する興味・関心や授業の理解度等（英語）	小	
		中	54～66（13問）
	地域や社会に関わる活動の状況等	小	23～26（4問）
		中	23～26（4問）
	各教科の調査時間の適切性	小	57～58（2問）
		中	67～69（3問）
2 落ち着いた学級づくり	挑戦心，達成感，規範意識，自己有用感等	小	5～16（12問）
		中	5～16（12問）
3 望ましい学習習慣づくり	基本的生活習慣等	小	1～4（4問）
		中	1～4（4問）
	学習習慣等	小	17～22（6問）
		中	17～22（6問）
	部活動に関する状況	小	
		中	27～29（3問）

(2) 分析結果の整理

質問項目に「している」「どちらかといえばしている」など，肯定的な回答をした児童生徒の割合が80%以上のものを「肯定的な回答が高い割合を示した質問事項」とし，肯定的な回答が60%未満のものを「肯定的な回答が低い割合を示した質問事項」として整理しました。

(3) クロス集計

教科に関する調査結果における正答率の高い児童生徒（U層）とそれ以外の児童生徒（E層）の質問紙調査の回答状況を比較し，各教科の正答率と学習状況・生活習慣との相関関係を分析しました。

(4) 旭川の子どもの概況

- 学びを深める授業づくり → ◆
- 落ち着いた学級づくり → ■
- 望ましい学習習慣づくり → ●

小学生

- ◆国語や算数の勉強は大切だと思うよ！
- ◆国語の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思うよ！
- ◆算数の授業で問題の解き方や考え方が分かるようにノートに書いているよ！

- ◆授業で学んだことを、ほかの学習に生かしているよ！
- ◆道徳の授業では、自分の考えを深めたり、学級やグループで話し合ったりする活動に取り組んでいたと思うよ！

- 先生は、授業やテストで間違えたところや、理解していないところについて分かるまで教えてくれていると思うよ！
- ものごとを最後までやり遂げて、うれしかったことがあるよ！
- いじめはどんな理由があってもいけないことだと思うよ！
- 人の役に立ちたいと思っているよ！



- 朝食を毎日食べているよ！
- 毎日、同じくらいの時刻に起きているよ！

- ◆地域や社会をよくするために何をすべきかを考えている児童の割合は低い。
- 学校の授業時間以外に、普段、1日当たり30分以上読書をしている児童の割合は低い。

中学生

- ◆国語や数学、英語の勉強は大切だと思うよ！
- ◆国語の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思うよ！
- ◆英語を読んだり聞いたりして概要や要点をとらえる活動が行われていたと思うよ！

- ◆課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいたと思うよ！
- ◆道徳の授業では、自分の考えを深めたり、学級やグループで話し合ったりする活動に取り組んでいたと思うよ！



- ものごとを最後までやり遂げて、うれしかったことがあるよ！
- 学校の規則を守っているよ！
- いじめはどんな理由があってもいけないことだと思うよ！
- 人の役に立ちたいと思っているよ！



- 朝食を毎日食べているよ！
- 読書することは好きだよ！

- ◆考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組立てなどを工夫している生徒の割合は低い。
- 家で自分で計画を立てて勉強をしている生徒の割合は低い。

(5) 小学校

①「学びを深める授業づくり」について

分析結果

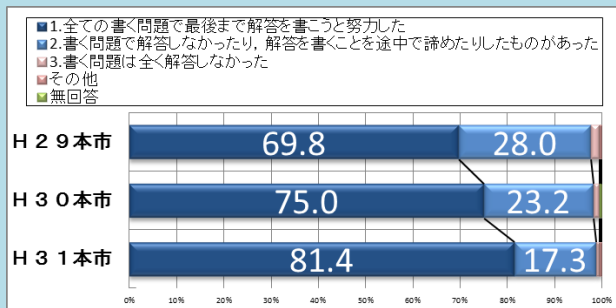
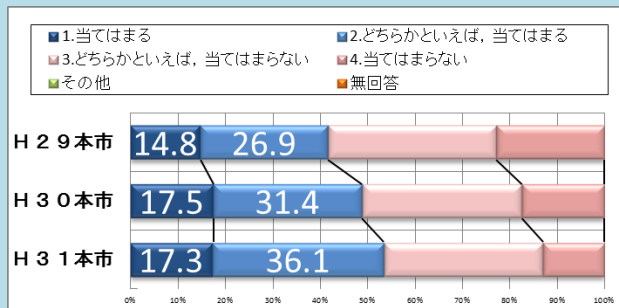
- 各教科の調査時間の適切性に関わる質問項目を除き、34質問項目中、14項目において肯定的な回答が高い割合を示しました。一方、「地域や社会をよくするために何をすべきかを考えることがある」の1項目において、肯定的な回答が低い割合を示しました。
- 3年間の経年比較では、5項目において肯定的な回答が増加傾向にありました。一方、肯定的な回答が減少傾向にある質問項目はありませんでした。
- 正答数の多い児童は、「5年生までに受けた授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいたと思う」、「5年生までに受けた授業で、自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組立てなどを工夫して発表していたと思う」などと思っている割合が高い傾向にあります。

肯定的な回答が特に高い割合を示した質問項目

- 国語や算数の勉強は大切だと思いますか（国語：94.2%，算数：94.5%）
- 国語や算数の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思いますか（国語：92.8%，算数：93.8%）

肯定的な回答が特に増加傾向にある質問項目

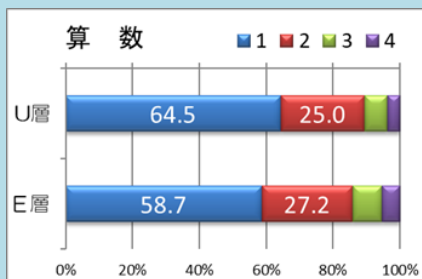
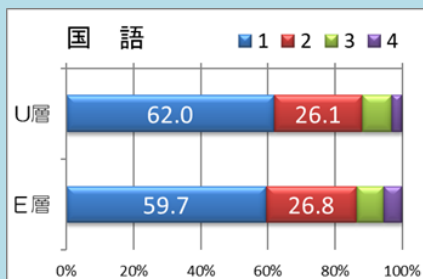
- 地域や社会をよくするために何をすべきかを考えることがありますか。
- 今回の算数の問題では、言葉や数、式を使って、わけや求め方などを書く問題がありました。それらの問題について、どのように解答しましたか。



正答数の多い児童（U層）とそれ以外の児童（E層）とのクロス集計

- 授業でもっとコンピュータなどのICTを活用したいと思いますか。

- | | |
|--------------------|------------------|
| 1 当てはまる | 2 どちらかといえば、当てはまる |
| 3 どちらかといえば、当てはまらない | 4 当てはまらない |



詳細は、「指導の改善策」学習習慣・生活習慣編 P19へ

②「落ち着いた学級づくり」について

分析結果

- 12質問項目中、12項目全てにおいて肯定的な回答が高い割合を示し、肯定的な回答が低い割合を示す項目はありませんでした。
- 3年間の経年比較では、肯定的な回答が増加傾向や減少傾向にある項目はありませんでした。

肯定的な回答が特に高い割合を示した質問項目

- 先生は、授業やテストで間違えたところや、理解していないところについて、分かるまで教えてくれていると思いますか（93.9%）
- ものごとを最後までやり遂げて、うれしかったことがありますか（94.5%）
- 学校のきまりを守っていますか（92.2%）
- いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか（98.4%）
- 人の役に立つ人間になりたいと思いますか（94.9%）

肯定的な回答が特に増加傾向にある質問項目

- 3年間の経年比較では、肯定的な回答が増加傾向にある項目はありませんでした。

詳細は、「指導の改善策」学習習慣・生活習慣編 P33へ

③「望ましい学習習慣づくり」について

分析結果

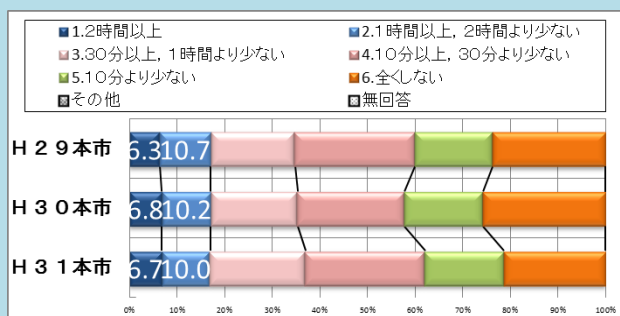
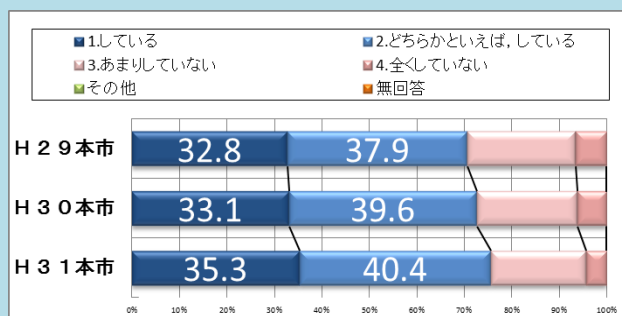
- 10質問項目中、3項目において肯定的な回答が高い割合を示しました。一方、「新聞を読んでいますか」など、2項目において、肯定的な回答が低い割合を示しました。
- 3年間の経年比較では、2項目において肯定的な回答が増加傾向にありました。一方、1項目「新聞を読んでいますか」において、肯定的な回答が減少傾向にありました。

肯定的な回答が特に高い割合を示した質問項目

- 朝食を毎日食べていますか（94.1%）
- 毎日、同じくらいの時刻に起きていますか（90.3%）

肯定的な回答が特に増加傾向にある質問項目

- 家で、自分で計画を立てて勉強をしていますか
- 学校の授業時間以外に、普段、1日当たりどれくらいの時間、読書をしますか。（1時間以上）



詳細は、「指導の改善策」学習習慣・生活習慣編 P36へ

(6) 中学校

①「学びを深める授業づくり」について

分析結果

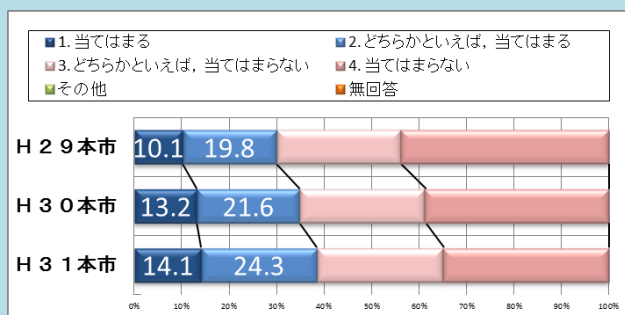
- 各教科の調査時間の適切性に関わる質問項目と部活動に関する状況に関わる質問事項を除き、41質問項目中、10項目において肯定的な回答が高い割合を示しました。一方、「1, 2年生のときに受けた授業で、自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組立てなどを工夫して発表していたと思いますか」などの9項目において、肯定的な回答が低い割合を示しました。
- 3年間の経年比較では、4項目において肯定的な回答が増加傾向にありました。一方、肯定的な回答が減少傾向にあった質問項目は、ありませんでした。
- 正答数の多い生徒は、「1, 2年生のときに受けた授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいたと思う」、「1, 2年生のときに受けた授業で、自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組立てなどを工夫して発表していたと思う」などと思っている割合が高い傾向にあります。

肯定的な回答が特に高い割合を示した質問項目

- 国語の勉強は大切だと思いますか（91.4％）

肯定的な回答が特に増加傾向にある質問項目

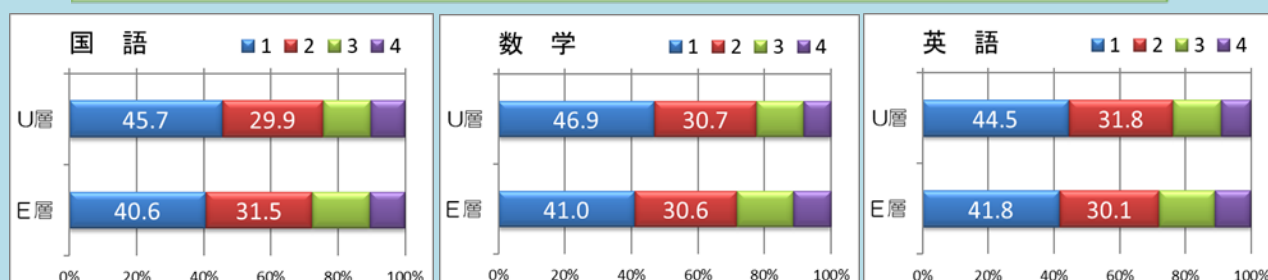
- 今住んでいる地域の行事に参加していますか。



正答数の多い児童（U層）とそれ以外の児童（E層）とのクロス集計

- 授業でもっとコンピュータなどのICTを活用したいと思いますか。

- | | |
|--------------------|------------------|
| 1 当てはまる | 2 どちらかといえば、当てはまる |
| 3 どちらかといえば、当てはまらない | 4 当てはまらない |



詳細は、「指導の改善策」学習習慣・生活習慣編 P41へ

②「落ち着いた学級づくり」について

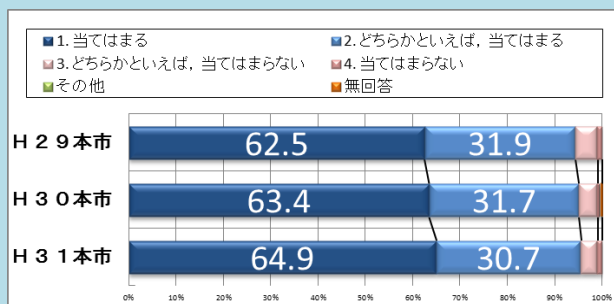
分析結果

- 12質問項目中、6項目において肯定的な回答が高い割合を示し、肯定的な回答が低い割合を示す項目はありませんでした。
- 3年間の経年比較では、「先生は、あなたのよいところを認めてくれていると思いますか」、「学校の規則を守っていますか」の2項目において肯定的な回答が増加傾向にあり、減少傾向にある項目はありませんでした。

肯定的な回答が特に高い割合を示した質問項目

- ものごとを最後までやり遂げて、うれしかったことがありますか（93.4%）
- 学校の規則を守っていますか（95.6%）
- いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか（96.2%）
- 人の役に立つ人間になりたいと思いますか（91.3%）

肯定的な回答が特に増加傾向にある質問項目



- 学校の規則を守っていますか

詳細は、「指導の改善策」
学習習慣・生活習慣編 P59へ

③「望ましい学習習慣づくり」について

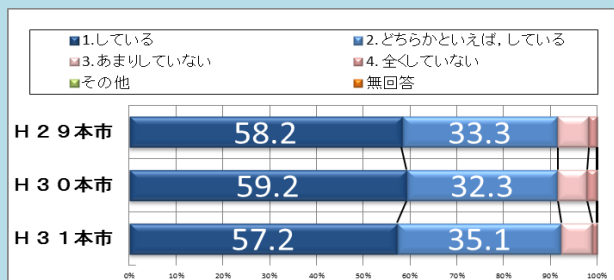
分析結果

- 10質問項目中、2項目において肯定的な回答が高い割合を示しました。一方、「昼休みや放課後、学校が休みの日に、本を読んだり、借りたりするために、学校図書館・学校図書室や地域の図書館にどれくらい行きますか」などの4項目において、肯定的な回答が低い割合を示しました。
- 3年間の経年比較では、1項目において肯定的な回答が増加傾向にありました。一方、「家で自分で計画を立てて勉強をしていますか」、「新聞を読んでいますか」の2項目において、肯定的な回答が減少傾向にありました。

肯定的な回答が特に高い割合を示した質問項目

- 朝食を毎日食べていますか（92.9%）
- 毎日、同じくらいの時刻に起きていますか（92.3%）

肯定的な回答が特に増加傾向にある質問項目



- 毎日、同じくらいの時刻に起きていますか

詳細は、「指導の改善策」
学習習慣・生活習慣編 P62へ

おわりに

「調査結果報告書」、「指導の改善策」及び「旭川市学力向上学習プリント集」は、次の皆様に御協力いただき、作成しました。

御協力いただきました旭川市授業力向上プロジェクト各チームの皆様に心から感謝を申し上げます。

旭川市授業力向上プロジェクト

国語チーム

委員長：菅原 整（明星中校長）
副委員長：千葉 昌之（知新小教頭）
委員：石川 憲一（大有小主幹教諭）
岩城 卓也（忠和中教諭）
狩集 慶一（緑が丘中教諭）
椎名 俊文（神楽中教諭）
嶋田 剛（神居中教諭）
千葉 華代（正和小教諭）
西山あずさ（東五条小教諭）
渡辺 恭平（大有小教諭）

算数・数学チーム

委員長：千葉 雅樹（春光台中校長）
副委員長：武田 要（末広小教頭）
委員：高綱 智美（明星中主幹教諭）
萬宮 淳（愛宕小主幹教諭）
岡田 哲（緑が丘中教諭）
櫻井 里佳（知新小教諭）
須郷 純弥（北鎮小教諭）
谷口 収（近文小教諭）
中本 厚（神楽中教諭）
沼澤 和範（中央中教諭）
早川 裕章（神居東中教諭）

英語チーム

委員長：佐藤 哲雄（東光中校長）
副委員長：明石 和則（啓北中主幹教諭）
委員：伊東 靖彦（永山南中教諭）
井上 祐司（神楽中教諭）
竹原 陽平（広陵中教諭）
柳澤 麻弥（愛宕中教諭）

学習習慣・生活習慣改善チーム

委員長：佐藤 美鶴（永山西小教頭）
副委員長：中島 圭介（東栄小教頭）
委員：蛭名 伸也（永山南中主幹教諭）
太田 貴幸（忠和小主幹教諭）
齋藤 知尋（愛宕東小主幹教諭）
千葉 操（東五条小主幹教諭）
榊本 智史（西御料地小主幹教諭）
村田 靖彦（愛宕中主幹教諭）
澁谷 朋美（神居中教諭）

（五十音順，敬称略，職名は令和元年10月現在）

この他、本調査結果報告書等の全般にわたり、旭川市教育委員会において以下の者が担当した。

山川 俊巳	旭川市教育委員会学校教育部長
佐藤 潤一	旭川市教育委員会学校教育部次長
辻並 浩樹	旭川市教育委員会学校教育部教育指導課主幹
中山 智博	旭川市教育委員会学校教育部教育指導課長補佐
白石 真	旭川市教育委員会学校教育部教育指導課長補佐
常盤 慎一	旭川市教育委員会学校教育部教育指導課長補佐
秋元 秀夫	旭川市教育委員会学校教育部教育指導課長補佐
竹内 浩	旭川市教育委員会学校教育部教育指導課主査
忠海 盛弘	旭川市教育委員会学校教育部教育指導課主査
佐藤 正友	旭川市教育委員会学校教育部教育指導課主査
馬場 大輔	旭川市教育委員会学校教育部教育指導課主査
竹中 一三	旭川市教育委員会学校教育部教育指導課主査
角地 祐輔	旭川市教育委員会学校教育部教育指導課主査